

【活動報告】ウクライナ避難民支援

2022年4月18日(月) ~ 2022年4月24日(日)

【寄付金使用状況】

寄付総額: 63,173,333円 (2022年4月20日時点)

送金総額: 3000万円 (約 1,014,844.40zł (ズウォティ))

寄付金使用総額: 276,238.76zł (約801万円)

(4月18日(月)~4月24日(日)の期間中の使用額: 57,295.06zł (約166万円))

【活動内容】

①クラクフ市内の数か所のシェルターへの支援物資提供

引き続き、クラクフ中央駅簡易避難所ボランティアスタッフと連携し、必要物資の購入。



駅構内のボランティアスタッフは入れ替わりが多いが、多くのボランティアスタッフに福田会ボランティアスタッフが認知され始め、カリタスが運営するFacebookページに紹介された。



クラクフ中央駅構内には、簡易避難所と支援物資の配給場所(こちらはカリタスが運営)があり、福田会ではどちらに対しても支援物資の提供を行っている。

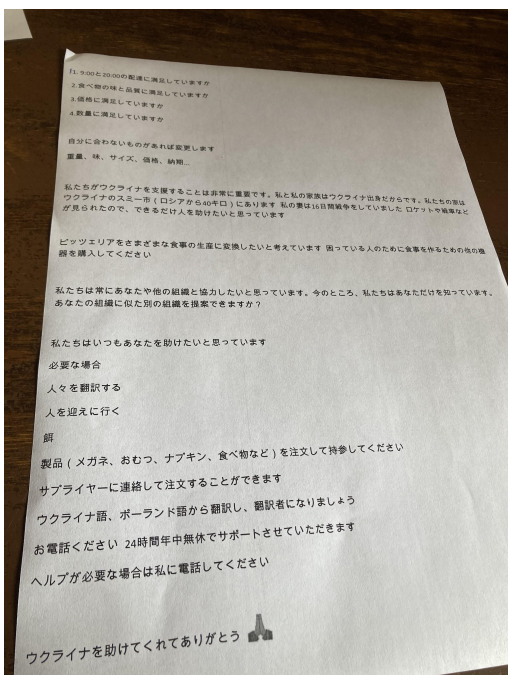
②レストランプロジェクト

各レストランとも、順調にクーポン利用者が増え、店内はウクライナからの避難民の方で溢れかえっていた。

写真:1店舗目 BENTOにて



写真:4店舗目 Szalona AzziPのオーナーとの打ち合わせの際、オーナーから手渡された手紙には、日本語訳されたフィードバックと感謝の言葉が添えられていた。



1週間の配布状況を見て、1日3回の配達をすることになった。

4月21日より1週間は、ポロネーゼを

朝:40個 (クラクフ駅構内避難所)

昼:40個 (")

夜:70個 (クラクフ駅外カリタステント内)

毎日配達することで様子を見る。

③児童養護施設等への支援活動

- ・ポーランド北部にある児童養護施設・Powiatowe Centrum Młodzieży w Garczynieにて福田会でウクライナ人教師2名の雇用サポートをすることが決定し、週明け契約書の最終確認が取れ次第、行動開始予定。
- ・キエルツェの小学校へ、ウクライナ避難民の子どもへの為の体育用品を購入。

④活動拠点の引っ越し



Opolska 110にあるオフィスビルの1階を無償で借りられることとなった。

(机と椅子はボランティアスタッフが持参)

スケルトン状態のため照明等はないが、スタッフで順次備品を持ち寄り取り揃える予定。

【現地の動向】

- ・ポーランドに流入したウクライナ避難民の数は、約290万人(4月21日時点)とされている。
- ・クラクフでは、市が1か月間無償でウクライナ人の子どもを預かる託児所を各地に運営しているが、運営期限が迫っており、市の資金不足により継続した支援は難しく、運営終了を迫られている。
- ・ポーランドでの長期的な避難生活を見越して仕事を探すウクライナ人女性が増え、ウクライナ人の雇用をアピールしたレストランが目立つようになった。

【今週の活動予定】

- ・各シェルターへの継続した支援物資提供
シェルタースタッフと連携し、必要物資のヒアリング・提供。
現在、毎日平日の14時に福田会ボランティアスタッフが1名(+シェルターのボランティアスタッフ1名)で物資の購入と提供をしているため、交代要員を探す必要がある。

・レストランプロジェクト

各店舗ひとまず1か月での提供としており、次週にかけて3~4週目を迎えるレストランが出てくるため、今後の方針を打ち合わせする。

各店舗とも、無料クーポンを多くの避難民が利用するホステルに提供したので、次週にかけて利用率に変化があるか様子を見る。

・児童養護施設等への支援

引き続き食糧品、日用品などをまとめた量、支援することを検討している。

運営終了間近の託児所を探し、問い合わせる。

新規支援先の開拓。

・Hope for Mundial(子どもたちのためのサッカーワールドカップ主催団体)への支援

引き続き支援内容について調整中。